

## Ⅲ 患者が望む医療と医療の中止

- 「終末期」において、患者が望まない医療を中止する。
- 意識調査では、国民が何を望んでいるかはある程度分かるが、当該患者については分からないことが多い。
- 決定手続の適正化： ①Second Opinion、②Visibility

# 実体と手続

- 患者のBest Interestの不明確さ
- 手続による可視化
- 実体要件の可能な限りの明確化
- 終末期、中断しうる医療、QOL

# 終末期医療におけるMSWの役割

患者と家族の気持ちと暮らしを支え  
心理社会的問題への  
社会福祉的視点からの相談援助

||

心理的サポート・家族への支援  
社会的問題への調整援助・人生の総まとめの援助



**尊厳 ・ QOL ・ Well Being**

# ホスピス・緩和ケアの基本的な考え方

ホスピス・緩和ケアは、治癒不可能な疾患の終末期にある患者および家族のクオリティオブライフ(QOL)の向上のために、さまざまな専門家が協力して作ったチームによって行われるケアを意味する。そのケアは、患者と家族が可能な限り人間らしく快適な生活を送れるように提供される。ケアの要件は、以下の5項目である。

1. 人が生きることを尊重し、誰にも例外なく訪れる「死への過程」に敬意を払う。
2. 死を早めることも死を遅らせることもしない。
3. 痛みやその他の不快な身体症状を緩和する。
4. 精神的・社会的な援助を行い、患者に死が訪れるまで、生きていることに意味を見出せるようなケア(霊的ケア)を行う。
5. 家族が困難を抱えて、それに対処しようとするとき、患者の療養中から死別したあとまで家族を支える

日本ホスピス緩和ケア協会定義

# 後期高齢者の終末期ケア

“良き旅立ち”をコーディネート



苦痛がなく、惨めな姿でなく、  
大切にしてもらっていた



本人が納得(本人の満足)

家族が納得(家族の満足)

ケアする私達も納得(スタッフの満足)

# Comfort Care: 安楽ケアサービスの組み立て

